

愛知県教育委員会 教育長様

2022年7月20日

行政を考える住民の会

事務局 宮崎邦彦

住所 [REDACTED]

「ジェンダー」についての具体的研修を求める請願

請願の趣旨、理由

- 1 男女平等日本は116位 WEF報告(資料1) 2022年7月14日 神奈川新聞
男女格差報告 調査対象146ヶ国中 日本は116位だったとある。
- 2 女性委員の登用は、34・3% 「県の審議会等」機関ではばらつき(資料2 2022年6月4日 朝日新聞) 県職員管理職に女性が占める割合は、今年四月時点では、13.01%とある。

さらに、県男女共同参画推進課の担当者は「男女の固定的役割分担の意識を変えていく啓発活動に力を入れ社会のあらゆる分野で女性が活躍できるような取り組みを勧めたい」と話したとある。

今まで当然のごとく意識されていた、役割分担について、「固定的役割分担に意識を変えていく」ということは、教育委員会、学校においても、早急に取り組まなければならない。

- 3 意識を変える啓発活動に力を入れ社会のあらゆる分野で女性が活躍できることを確立するために、セクシャルハラスメント等、をなくすために、それぞれの中にある、差別的意識を見直すことも求められるといえる。

請願事項

- 1 教育委員会事務局、および、学校において、「ジェンダー」について、自らを、みなおすため(自らの中にある固定的役割分担の意識について)の研修を行うこと。
- 2 各職員の中にある、固定的役割分担等の負の意識(性差別的意識も含む)について、その原因、理由を明らかにする研修を行うこと。
- 3 研修で明らかにした、負の意識について、どのようにして克服するのか、各自で明確にすること。

口頭意見陳述希望

